No. H20吉上-10	平成20年度	四国山地砂防事務所	論文種類			
キーワード						
論文名	平成20年度　下モ田谷堰堤工事における安全対策について		ミタニ建設工業株式会社	現場代理人：山岡　沢		

■工事概要

工事名	平成20年度　下モ田谷堰堤工事	概要	・砂防土工-1式 ・法面工－1式・ｺﾝｸﾘｰﾄ堰堤工－1式 (コンクリートV=1345m3)・取水施設工－1式 ・仮設工－1式
工事場所	高知県土佐郡土佐町田井地先		
工期	平成20年7月16日～平成21年2月27日		

●安全対策の目的・課題

本工事における掘削作業において床堀幅、延長が10m未満であり人力掘削併用時における接触、捲き込み、挟まれ等の重機災害の発生が予想され、安全教育、指導、見張員の配置等だけでは、十分な対策がとれないのではないかと言う課題、又、掘削高が10mを超え落石規模が小さい場合においても重大事故になる可能性に対する課題に取り組んだ。

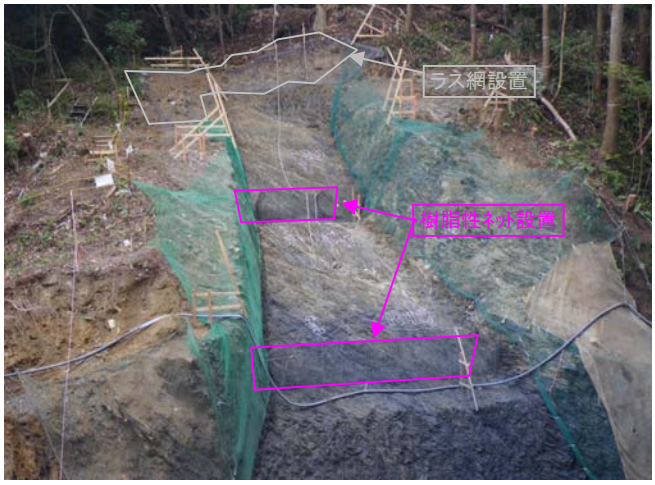
掘削状況

●安全対策の特徴・着眼点

・重機災害における接触等の最大の原因としてｵﾍﾟﾚｰﾀｰの死角、特に後方における対策。
・重機旋回時におけるｵﾍﾟﾚｰﾀｰの安全確認の徹底、側方での人力作業における重機旋回に対する作業員の注意喚起を促す方法について。
・落石防止措置における安全設備の工夫について。

●取り組み概要

・重機後部に赤外線ｾﾝｻｰを設置し一定の半径内に立ち入った場合、後方設置ｽﾋﾟｰｶｰより音声により立入禁止区域に立ち入らない様警告し、重機ｷｬﾋﾞﾝ内にはブザーを設置し後方の一定範囲内に人等がいる事を知らせる事により未然に事故を防ぐようにしている。
・重機ｱｰﾑ内側面に『旋回注意』のｽﾃｯｶｰを設置、常に目に入る位置に設置する事によって確認を徹底する。
・ブーム側面両側にも設置する事により側方の作業員に見やすく設置する事で注意を促す事が出来る。
・本堤両岸端部の掘削法面土砂部については、ラス網を張り、上下流面岩部においては落石防護ネットを設置して浮石等の飛来落下を防止、中間部床面には両端、及び上下流面からの万が一の落石を樹脂性ネット(H=1.0m)を設置する事で、最下面への落石を防止するように措置を講じている。



落石防止対策

重機後部取付ｾﾝｻｰ

重機後部取付ｽﾋﾟｰｶｰ

重機貼付ステッカー